

令和6年11月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年11月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「電気計測機器」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「原動機」、「半導体等製造装置」などが増加したことから対前年同月比9.6%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」、「半導体等製造装置」などが減少したものの、「通信機」、「医薬品」、「事務用機器」などが増加したことから、同5.0%の増加となった。

その結果、差引額は3億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,160億円	+9.6%	1,163億円	+5.0%	▲3億円	▲94.7%
	2カ月連続の増加		18カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	49億円	+36.2%	輸入	増加品目	(1) 通信機	43億円	+384.6%
		(2) 原動機	63億円	+25.5%			(2) 医薬品	135億円	+26.6%
		(3) 半導体等製造装置	40億円	+45.1%			(3) 事務用機器	38億円	+70.9%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	131億円	▲7.7%		減少品目	(1) 有機化合物	17億円	▲66.4%
		(2) 電気計測機器	70億円	▲6.6%			(2) 半導体等製造装置	25億円	▲55.4%
		(3) 金属製品	23億円	▲7.1%			(3) コック・弁類	16億円	▲25.9%
	主要地域 増減	EU、アジアが増加、アメリカは減少				主要地域 増減	EU、アメリカ、アジアが増加		

（参考）ドルレートは、152.83円（前年同月比1.7%、2.49円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。